

2024年度 学校評価結果について

学校法人旭川カトリック学園 旭川聖母幼稚園

1、本園の教育目標

キリスト教の精神と理念に基づき、「おいのり」しんせつ」「がまん」の心を育て他者に対する思いやりと自己犠牲の精神を育みます。
幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し周りの世界に興味を持ち探索し思考する過程の中で基本的習慣を身につけるとともに集団生活のルールや友達とのかかわりを通して感謝の心を育みます。
また、幼児と教師の信頼関係を大切に一人ひとりに寄り添った心が通う幼児教育を目指します。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

さまざまなニーズを抱える子どもが増えています。今日、保護者からは質の高い保育を実践することが求められ、私たち保育者はその思いに応えるべく日常から積極的に各種研修に参加し、学習の機会を増やすことで個々の能力向上に努め幼児一人ひとりに寄り添った保育を心がけます。今年も自然体験学習に積極的に取り組みます。毎週火曜日に「神様のお話」毎月の「お誕生会」にはお祈りと祝福をしてくださる神父とのふれあいを通して神様とのかかわりを大切にする心を育てていきます。

3、評価項目の達成お及び取り組み状況

評価項目・目標	取り組み状況
保育の計画性 保育内容及び指導の在り方を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	教育要領に基づき保育者それぞれが日常の幼児とのかかわりの中から実態に即したものとなる保育の計画を作成しています。 幼児の興味や関心に沿った環境づくりを考え自然体験型学習に力を注ぎました。山登り、川、森などへ外部指導者、保護者ボランティアと出かけ身近な草木、花、小さな生物などと触れ合い、観察することで新たな発見・体験となりました。今後も子どもたちの「なぜ?」「どうして?」の疑問がたくさん出てくるような自然体験活動をしていきたいと思ひます。
保育の在り方 幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	今年度は安全面に気を付け過ぎてダイナミックに遊ぶことが少なかったです。保育のマンネリ化や新しいことにチャレンジする姿勢が希薄になってきているように感じます。何でも先々に配慮しすぎることなく子どもを信じて、自ら考え楽しく遊ぶ方法を見つけられるように言葉を掛けたり、保育の工夫が必要だと思ひます。

<p>保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等の資質向上を図る。</p>	<p>どの職員も子ども一人ひとりに愛情を持って接し、きめの細かい対応が取れていると感じます。 保育者間の連携では行事等の進め方で共有が出来ていない場面もあり、もっと密に情報共有をしなくてはと思っています。</p>
<p>保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。</p>	<p>ブログ、園だより、クラスだより、週予定、SNSなどを通し園行事・園からの連絡事項、園における幼児の様子をお知らせしています。 また、個人的な連絡などについても電話やラインを導入し随時対応しております。これからは園と保護者とのコミュニケーションを大切にし、保護者からの要望に寄り添った対応を心掛けます。外部からの苦情については迅速に園長が相手の話を十分に聞き、双方が納得出来るような対応に努めました。</p>
<p>地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<p>近くの朝日小学校とは、行事予定表、毎月の便り、参観日への参加などを心掛けています。園の施設開放では毎週一回の放課後の体操教室、週二回の学習教室に近所の小学生も参加しております。 「クリーン大作戦」として地域のゴミ拾いを保護者と一緒に行い、地域の清掃に努めました。 今年は小学校休校時に児童の預かり、未就園児親子教室の時の園バスでの送迎など子育て支援にも力を入れました。</p>
<p>研修と研究 研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<p>オンライン・ハイブリット形式の研修会が多く、参加しやすくなりました。これからは各自の専門性を高める為の目標や課題を明確にし、一人ひとり積極的に取り組む姿勢が必要だと思っています。</p>
<p>情報公開 保育の現状や自己採点・評価の結果等を個人情報の保護に留意しつつ積極的に園だより等で公開する努力をする。</p>	<p>HP、園だより、クラスだより、週案の発行とInstagram、ブログによる配信で幼児たちの様子を伝えています。学校評価の結果もHPにてご覧ください。現在、園だより、クラスだよりは紙印刷での配布にしておりますが、配布漏れの防止やペーパーレス化に伴い、徐々にPCやスマホでの配信に移行していきます。</p>

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

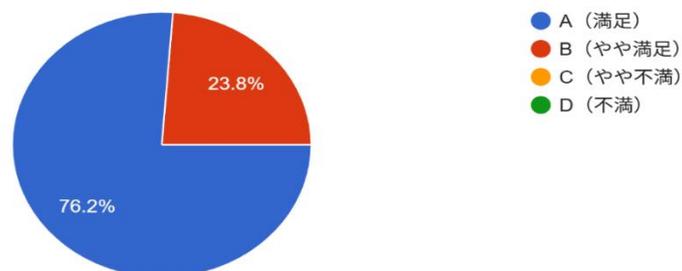
<p>日常の保育において幼児の特性をしっかりと把握し一人ひとりに寄り添ったきめの細かい保育を目標としました。多様なニーズの幼児との関わりの中で保育者はそれぞれが自分の役割を認識し幼児との信頼関係を構築しつつ組織的な対応が出来ていると思います。今後も保育者と保護者がお互いの立場で幼児の記憶に残る体験をさせてあげられるような協力関係でありたいと思います。 園に対する保護者からの評価は保育、行事、園からのお知らせなどに対し、概ね『満足』の評価をいただきました。これに満足せず今後も職員一同、取り組んでいきたいと思っています。</p>

5、今後取り組むべき課題

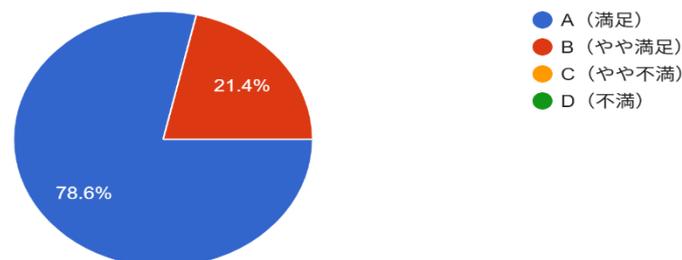
安全管理	<p>緊急時の安全についてのマニュアルと組織的な対応により問題点の整理検討を図り災害や感染症からの幼児の安全確保に努めます。防犯の面から3月に自動ロック機能付きのドアに変更いたしました。また、登降園アプリの導入により園児の登降園状況を保護者と共有できる体制を整えました。</p> <p>〈課題〉大きな怪我や災害はないが、日常の幼児の小さな怪我の防止に心を配る。</p>
特別支援教育	<p>支援を必要とする園児にはその子が将来的に見て困らないよう友だちとの関係性を上手く築くことが出来るように支援します。市の巡回相談員の訪問指導や支援施設との連携を通して私たちも学習しています。</p>
園に対する保護者の満足度	<p>アンケートを通して保護者の園に対する要望、意見を集約し検討、分析することにより園に対する期待や満足度の向上を図ります。アンケートをWEBで行い回収率も上がりました。</p>

6、学校関係者の評価

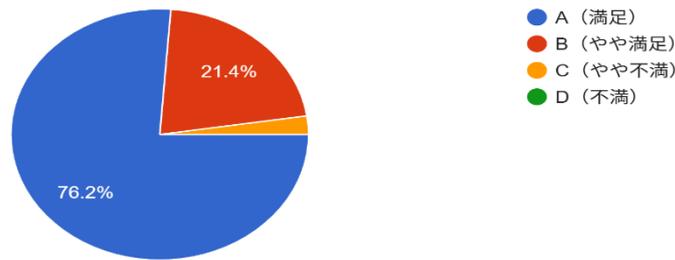
1・保育の在り方 園児への対応、安全管理の徹...、未就園児教室なかよし等)、行事の充実を図る。
42件の回答



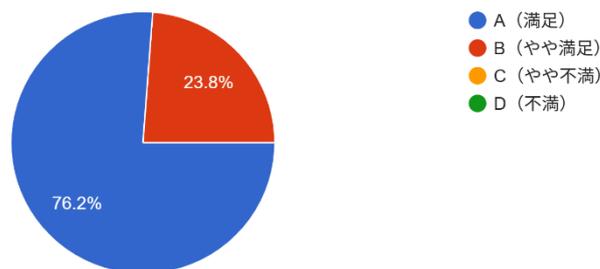
2・保育者としての資質 保育、教育専門家としての能力、姿勢、責任など資質向上を図る。
42件の回答



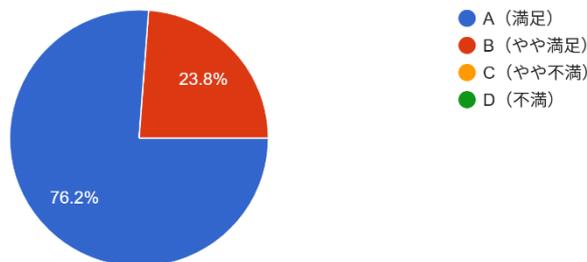
3・保護者への対応及び家庭との連携 園児に関...信、保護者からの要望や苦情に適切な対応を図る。
42件の回答



4・研修と研究 研修、研究を積極的に行い専門性を高める努力をする。
42件の回答



5・情報公開 保育の現状等や自己点検・評価結...に園だより、HP等で情報公開をする努力をする。
42件の回答



【良かった点】

- ・園外保育や行事がたくさんあり、子どもがいつも楽しめている。
- ・感染症の対策がきちんとされているのかあまり流行しない。
- ・先生方誰もが子どもの様子を把握してくれているので安心している。
- ・電話やラインで園での様子をこまめに教えてくれる。

【反省・改善を望む点】

- ・園庭の入り口と玄関の防犯面が心配。
- ・モンテッソーリを特色としてもっと行って欲しい。
- ・行事のプリントがわかりにくい時がある。

まとめ

全体的に「満足」「やや満足」の評価が多かったのですが、全ての方に「満足」を付けてもらえるよう工夫し、日々努力していきたいと思います。また、更に保護者の方々の期待と信頼に応えられるよう全職員で取り組んで行こうと思います。

